

## 資料 1 7

### 【調査表 1】

#### 医学科研究業績評価基準

本評価項目は、本学医学部医学科の各講座、附属研究施設、保健管理センター（以下「講座」という。）の代表者が記入して下さい。

所属	職名	代表者名
----	----	------

なお、各項目については、次の事項に注意して記入して下さい。

#### （論文に関する事項）

- 論文数は、講座単位とし、その対象範囲は次のとおりとする。  
（項）国立学校は、（項）国立学校に所属する教官、大学院生、研究生、技官等の医局員が作成した論文を対象とする。  
（研究休職した者が国内外で著した論文数も含めるものとする。）  
（項）大学附属病院は、（項）大学附属病院に所属する教官、非常勤医師（医員、医員（研修医））、技官等が作成した論文を対象とする。  
なお、回答は、調査表 4 の「大学附属病院研究業績評価基準」に記入して下さい。  
（研究休職した者が国内外で著した論文数も含めるものとする。）
- 一論文が複数の講座に関与する場合は、それぞれの講座で一編とする。  
同一講座の複数の医局員で一編の論文を作成した場合は、一編とする。
- 論文数の調査対象期間は、次のとおりとする。  
当該年：平成 12 年 1 月～12 月に発表したものを対象とする。  
過去 3 年間：平成 10 年 1 月～平成 12 年 12 月に発表したものを対象とする。

#### （科学研究費補助金等に関する事項）

- 文部科学省の研究費は、科学研究費補助金のみとする。
- 科学研究費補助金は、講座の全ての取得総額とする。
- 科学研究費補助金の研究代表者の取得金額は、分担者の配分額も含めた総額を計上する。
- 科学研究費補助金の分担者の取得金額は、採択金額の一部を分担者に配分できる研究課題（研究区分 1）で、分担者分として、研究代表者から分担者に配分された金額を計上する。
- 科学研究費補助金で同一講座内に、同一課題の研究代表者、分担者がいる場合は、取得金額の重複計上はしない。
- 文部科学省以外の国内外の省庁や民間等からの研究費は、公募によるもののみを対象とする。
- 複数の講座で取得した研究費は、それぞれの講座の取得研究費とする。

#### （その他全体事項について）

- ポイントは、5)、4)、3)、2)、1) の 5 段階を原則とする。
- ポイントファクター（PF）を各項目に乗ずる。  
〔例：当該年欧文論文（PF 2）で、8 編以上の欧文論文の原著がある場合は、5) の 8 編以上に該当するため  $5 \times (PF 2) = 10$  となる〕
- 著書・著書編者等のポイントファクター（PF）は、編数に乗ずるものとする。
- 各項目の右側の表の番号欄には、項目毎にポイントファクター（PF）を乗じた点数を、また、計欄には、その合計点数を記入する。  
但し、「K の 2～8」及び「L」は、記入を要しない。

A. 当該年和文論文 (PF 1)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 8 編以上 4) 6~7 編 3) 4~5 編 2) 2~3 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

B. 当該年欧文論文 (PF 2)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 8 編以上 4) 6~7 編 3) 4~5 編 2) 2~3 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

C. 過去 3 年間和文論文 (PF 1)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 16 編以上 4) 11~15 編 3) 6~10 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

D. 過去 3 年間欧文論文 (PF 2)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 16 編以上 4) 11~15 編 3) 6~10 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

E. インパクトファクター (IF) (PF 1)

1. 当該年における IF 総点数  
5) 16 以上 4) 11~15 3) 6~10 2) 1~5 1) 1 未満
2. 過去 3 年間ににおける IF 総点数  
5) 46 以上 4) 31~45 3) 16~30 2) 1~15 1) 1 未満
3. 当該年における単一論文の IF 点数 (IF 5 以上の各論文 (筆頭著者, 論文名, 巻, 頁, 年) と IF) (PF 2) なお, 論文数が 2 つ以上ある場合は, 列記願います。

〔記載例: 論文 1: 筆頭著者名, 論文名, 巻, 頁, 年 (IF)〕を記入する。

{  
{  
{

}  
}  
}

計	
1	
2	
3	

F. 科学研究費補助金、他省庁からの研究費獲得状況 (当該年度分とする)

1. 文部科学省科学研究費補助金取得総額 (単位: 万円) (PF 1)  
5) 600 以上 4) 400~600 未満 3) 200~400 未満 2) 100~200 未満 1) 1~100 未満
2. 文部科学省以外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額 (単位: 万円) (PF 1)  
5) 120 以上 4) 80~120 未満 3) 40~80 未満 2) 20~40 未満 1) 1~20 未満
3. 国外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額 (単位: 万円) (PF 1)  
5) 600 以上 4) 400~600 未満 3) 200~400 未満 2) 100~200 未満 1) 1~100 未満

計	
1	
2	
3	

G. 国内全国学会・研究会等への関与 (当該年度分とする)

1. 学会・研究会出題数 (PF 0.1)
2. 特別講演又は招待講演等回数 (PF 1.5)
3. シンポジウム又はワークショップ回数 (PF 1.5)
4. 一般演題司会者 (座長) 回数 (PF 0.5)
5. 特別講演又は招待講演等司会者 (座長) 回数 (PF 1)
6. シンポジウム又はワークショップ司会者 (座長) 回数 (PF 1.5)

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

H. 国際学会・会議等への関与 (当該年度分とする)

1. 学会・会議出題数 (PF 0.2)
2. 特別講演又は招待講演等回数 (PF 3)
3. シンポジウム又はワークショップ回数 (PF 3)
4. 一般演題司会者 (座長) 回数 (PF 1)
5. 特別講演又は招待講演等司会者 (座長) 回数 (PF 2)
6. シンポジウム又はワークショップ司会者 (座長) 回数 (PF 3)

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

I. 学会等の主催（当該年度分とする）

1. 国内全国学会（西日本地方会以上）・研究会主催回数（PF 5）

2. 国際会議（学会・シンポジウム）主催回数（PF 10）

計	
1	
2	

J. 専門誌編集委員としての関与（当該年度分とする）

1. 国内専門誌編集委員件数（PF 3）

2. 国外専門誌編集委員件数（PF 6）

計	
1	
2	

K. 受賞関係（当該年度分とする）

1. 国内外学会賞の取得件数（PF 5）

計	
1	

以下の（PF）は，その都度学長が判断する。

2. 外国政府機関からの称号授与件数（PF ）

3. 外国大学からの称号授与件数（PF ）

4. 政府関係賞授与件数（PF ）

5. 非政府関係賞授与件数（PF ）

6. 国際政府関係賞授与件数（PF ）

7. 国際非政府関係賞授与件数（PF ）

8. 国際学会名誉会員件数（PF ）

2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

L. 研究業績に関する評価（PF ）

その都度副学長（教育等担当）が判断する

計	
---	--

総合計 点数	
-----------	--

## 【調査表 2】

### 看護学科研究業績評価基準

本評価基準は、本学医学部看護学科の各領域の代表者が記入して下さい。

所属	職名	代表者名

なお、各項目については、次の事項に注意して記入して下さい。

#### (論文に関する事項)

1. 論文数は、領域単位とし、教官、大学院生（修士課程）及び研究生が作成した論文を対象とする。  
(研究休職した者が国内外で著した論文数も含めるものとする。)
2. 一論文が複数の領域に関与する場合は、それぞれの領域で一編とする。  
但し、同一領域で複数の教官等が一編の論文を作成した場合は、一編とする。
3. 論文数の調査対象期間は、次のとおりとする。  
当該年 : 平成12年1月～12月に発表したものを対象とする。  
過去3年間: 平成10年1月～平成12年12月に発表したものを対象とする。

#### (科学研究費補助金等に関する事項)

1. 文部科学省の研究費は、科学研究費補助金のみとする。
2. 科学研究費補助金は、領域の全ての取得総額とする。
3. 科学研究費補助金の研究代表者の取得金額は、分担者も含めた総額を計上する。
4. 科学研究費補助金で同一領域内に、同一課題の研究代表者、分担者がいる場合、取得金額の重複計上はしない。
5. 文部科学省以外の国内外の省庁や民間等からの研究費は、公募によるもののみを対象とする。
6. 複数の領域で取得した研究費は、それぞれの領域の取得研究費とする。

#### (その他全体事項について)

1. ポイントは、(5), (4), (3), (2), (1)の5段階を原則とする。
2. ポイントファクター(PF)を各項目に乗ずる。  
〔例: 当該年欧文論文(PF2)で、5編以上の欧文論文の原著がある場合は、5の5編以上に該当するため  $5 \times (PF2) = 10$ となる〕
3. 著書・著書編者等のポイントファクター(PF)は、論文数に乗ずるものとする。
4. 各項目の右側の表の番号欄には、項目毎にポイントファクター(PF)を乗じた点数を、また、計欄には、その合計点数を記入する。  
但し、「Kの2～8」及び「L」は、記入を要しない。

A. 当該年和文論文 (PF1)

- 1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 2. 報告書等 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 3. 総 説 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	

B. 当該年欧文論文 (PF2)

- 1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 2. 報告書等 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 3. 総 説 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	

C. 過去3年間和文論文 (PF1)

- 1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 2. 報告書等 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 3. 総 説 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	

D. 過去3年間欧文論文 (PF2)

- 1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 2. 報告書等 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 3. 総 説 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編
- 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	

E. インパクトファクター(IF) (PF1)

1. 当該年における IF 総点数

5) 4 以上 4) 3 ~ 4 未満 3) 2 ~ 3 未満 2) 1 ~ 2 未満 1) 1 未満

2. 過去3年間における IF 総点数

5) 8 以上 4) 6 ~ 8 未満 3) 4 ~ 6 未満 2) 1 ~ 4 未満 1) 1 未満

3. 当該年における単一論文の IF 点数 (IF5 以上の各論文(筆頭著者, 論文名, 巻, 頁, 年)と IF) (PF2) なお, 論文数が2つ以上ある場合は, 列記願います。

[ 記載例 論文1: 筆頭著者名, 論文名, 巻, 頁, 年 (IF) ] を記入する。

[ ]  
 [ ]  
 [ ]

計	
1	
2	
3	

F . 科学研究費補助金、他省庁からの研究費獲得状況（当該年度分とする）

- 1 . 文部科学省科学研究費補助金取得総額(単位：万円) (PF 1 )  
5 ) 80 以上 4 ) 60 ~ 80 未満 3 ) 40 ~ 60 未満 2 ) 20 ~ 40 未満 1 ) 1 ~ 20 未満
- 2 . 文部科学省以外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額(単位：万円)(PF 1 )  
5 ) 40 以上 4 ) 30 ~ 40 未満 3 ) 20 ~ 30 未満 2 ) 10 ~ 20 未満 1 ) 1 ~ 10 未満
- 3 . 国外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額(単位：万円)(PF 1 )  
5 ) 80 以上 4 ) 60 ~ 80 未満 3 ) 40 ~ 60 未満 2 ) 20 ~ 40 未満 1 ) 1 ~ 20 未満

計	
1	
2	
3	

G . 国内全国学会・研究会等への関与（当該年度分とする）

- 1 . 学会・研究会出題数 (PF 0 . 1 )
- 2 . 特別講演又は招待講演等回数 (PF 1 . 5 )
- 3 . シンポジウム又はワークショップ回数 (PF 1 . 5 )
- 4 . 一般演題司会者(座長)回数 (PF 0 . 5 )
- 5 . 特別講演又は招待講演等司会者(座長)回数 (PF 1 )
- 6 . シンポジウム又はワークショップ司会者(座長)回数 (PF 1 . 5 )

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

H . 国際学会・会議等への関与（当該年度分とする）

- 1 . 学会・会議出題数 (PF 1 )
- 2 . 特別講演又は招待講演等回数 (PF 3 )
- 3 . シンポジウム又はワークショップ回数 (PF 3 )
- 4 . 一般演題司会者(座長)回数 (PF 1 )
- 5 . 特別講演又は招待講演等司会者(座長)回数 (PF 2 )
- 6 . シンポジウム又はワークショップ司会者(座長)回数 (PF 3 )

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

I . 学会等の主催（当該年度分とする）

- 1 . 国内全国学会（西日本地方会以上）・研究会主催回数 (PF 5 )
- 2 . 国際会議（学会・シンポジウム）主催回数 (PF 1 0 )

計	
1	
2	

J . 専門誌編集委員としての関与（当該年度分とする）

- 1 . 国内専門誌編集委員件数 (PF 3 )
- 2 . 国外専門誌編集委員件数 (PF 6 )

計	
1	
2	

K. 受賞関係(当該年度分とする)

1. 国内外学会賞の取得件数(PF5)

計	
1	

以下の(PF)は、その都度学長が判断する。

2. 外国政府機関からの称号授与件数(PF )

3. 外国大学からの称号授与件数(PF )

4. 政府関係賞授与件数(PF )

5. 非政府関係賞授与件数(PF )

6. 国際政府関係賞授与件数(PF )

7. 国際非政府関係賞授与件数(PF )

8. 国際学会名誉会員件数(PF )

2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

L. 研究業績に関する評価(PF )

その都度副学長(教育等担当)が判断する

計	
---	--

総合 点数	
----------	--

【調査表 3】

一般教育等研究業績評価基準

本評価基準は、本学医学部一般教育等の各学科目の代表者が記入して下さい。

所属	職名	代表者名
----	----	------

なお、各項目については、次の事項に注意して記入して下さい。

(論文に関する事項)

1. 論文数は、学科目単位とし、その対象範囲は次のとおりとする。  
(項) 国立学校に所属する教官、大学院生、研究生及び技官が作成した論文を対象とする。  
(研究休職した者が国内外で著した論文数も含めるものとする。)
2. 一論文が複数の学科目に関与する場合は、それぞれの学科目で一編とする。  
同一学科目の複数の教官等で一編の論文を作成した場合は、一編とする。
3. 論文数の調査対象期間は、次のとおりとする。  
当該年 : 平成 12 年 1 月 ~ 12 月に発表したものを対象とする。  
過去 3 年間 : 平成 10 年 1 月 ~ 平成 12 年 12 月に発表したものを対象とする。
4. 論文数の報告書等には、症例報告を含むものとする。

(科学研究費補助金等に関する事項)

1. 文部科学省の研究費は、科学研究費補助金のみとする。
2. 科学研究費補助金は、学科目の全ての取得総額とする。
3. 科学研究費補助金の研究代表者の取得金額は、分担者の配分額も含めた総額を計上する。
4. 科学研究費補助金の分担者の取得金額は、採択金額の一部を分担者に配分できる研究課題(研究区分 1)で、分担者分として、研究代表者から分担者に配分された金額を計上する。
5. 科学研究費補助金で同一学科目内に、同一課題の研究代表者、分担者がいる場合は、取得金額の重複計上はしない。
6. 文部科学省以外の国内外の省庁や民間等からの研究費は、公募によるもののみを対象とする。
7. 複数の学科目で取得した研究費は、それぞれの学科目の取得研究費とする。

(その他全体事項について)

1. ポイントは、(5), (4), (3), (2), (1) の 5 段階を原則とする。
2. ポイントファクター (PF) を各項目に乗ずる。  
[例: 当該年欧文論文 (PF 2) で、5 編以上の欧文論文の原著がある場合は、5 の 5 編以上に該当するため  $5 \times (PF 2) = 10$  となる]
3. 著書・著書編者等のポイントファクター (PF) は、編数に乗ずるものとする。
4. 各項目の右側の表の番号欄には、項目毎にポイントファクター (PF) を乗じた点数を、また、計欄には、その合計点数を記入する。  
但し、「K の 2 ~ 8」及び「L」は、記入を要しない。

A. 当該年和文論文

【文系】(PF 2)

1. 原著 5) 5 編以上    4) 4 編    3) 3 編    2) 2 編    1) 1 編

計	
1	

2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

B. 当該年欧文論文

【文系】(PF2)

1. 原著 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 3. 総説 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【理系】(PF2)

1. 原著 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 3. 総説 5) 5編以上 4) 4編 3) 3編 2) 2編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

C. 過去3年間和文論文

【文系】(PF2)

1. 原著 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 3. 総説 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【理系】(PF1)

1. 原著 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 3. 総説 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

D. 過去3年間欧文論文

【文系】(PF2)

1. 原著 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 3. 総説 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【理系】(PF2)

1. 原著 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 2. 報告書等 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 3. 総説 5) 9編以上 4) 7~8編 3) 5~6編 2) 2~4編 1) 1編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

E. インパクトファクター(IF) (PF1)

計	
---	--



I . 学会等の主催（当該年度分とする）

1 . 国内全国学会（西日本地方会以上）・研究会主催回数（PF 5）

2 . 国際会議（学会・シンポジウム）主催回数（PF 10）

計	
1	
2	

J . 専門誌編集委員としての関与（当該年度分とする）

1 . 国内専門誌編集委員件数（PF 3）

2 . 国外専門誌編集委員件数（PF 6）

計	
1	
2	

K . 受賞関係（当該年度分とする）

1 . 国内外学会賞の取得件数（PF 5）

計	
1	

以下の（PF）は，その都度学長が判断する。

2 . 外国政府機関からの称号授与件数（PF ）

3 . 外国大学からの称号授与件数（PF ）

4 . 政府関係賞授与件数（PF ）

5 . 非政府関係賞授与件数（PF ）

6 . 国際政府関係賞授与件数（PF ）

7 . 国際非政府関係賞授与件数（PF ）

8 . 国際学会名誉会員件数（PF ）

2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

L . 研究業績に関する評価（PF ）

その都度副学長（教育等担当）が判断する

計	
---	--

総合計 点数	
-----------	--

【調査表 4】

大学附属病院研究業績評価基準

本評価基準は、本学医学部附属病院の各診療科・診療施設等（以下「講座」という。）の代表者が記入して下さい。

所属	職名	代表者名

なお、各項目については、次の事項に注意して記入して下さい。

（論文に関する事項）

1. 論文数は、講座単位とし、その対象範囲は次のとおりとする。  
（項）大学附属病院に所属する教官，非常勤医師（医員，医員（研修医）），技官等が作成した論文を対象とする。  
（研究休職した者が国内外で著した論文数も含めるものとする。）
2. 一論文が複数の講座に関与する場合は、それぞれの講座で一編とする。  
同一講座の複数の医局員で一編の論文を作成した場合は、一編とする。
3. 論文数の調査対象期間は、次のとおりとする。  
当該年：平成12年1月～12月に発表したものを対象とする。  
過去3年間：平成10年1月～平成12年12月に発表したものを対象とする。

（科学研究費補助金等に関する事項）

1. 文部科学省の研究費は、科学研究費補助金のみとする。
2. 科学研究費補助金は、講座の全ての取得総額とする。
3. 科学研究費補助金の研究代表者の取得金額は、分担者の配分額も含めた総額を計上する。
4. 科学研究費補助金の分担者の取得金額は、採択金額の一部を分担者に配分できる研究課題（研究区分1）で、分担者分として、研究代表者から分担者に配分された金額を計上する。
5. 科学研究費補助金で同一講座内に、同一課題の研究代表者，分担者がいる場合は、取得金額の重複計上はしない。
6. 文部科学省以外の国内外の省庁や民間等からの研究費は、公募によるもののみを対象とする。
7. 複数の講座で取得した研究費は、それぞれの講座の取得研究費とする。

（その他全体事項について）

1. ポイントは、(5), (4), (3), (2), (1) の5段階を原則とする。
2. ポイントファクター（PF）を各項目に乗ずる。  
〔例：当該年欧文論文（PF2）で、14篇以上の欧文論文の原著がある場合は 5〕の14編以上に該当するため  $5 \times (PF2) = 10$ 〕
3. 著書・著書編者等のポイントファクター（PF）は、編数に乗ずるものとする。
4. 各項目の右側の表の番号欄には、項目毎にポイントファクター（PF）を乗じた点数を、また、計欄には、その合計点数を記入する。  
但し、「Kの2～8」及び「L」は、記入を要しない。

A. 当該年和文論文 (PF 1)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 8 編以上 4) 6~7 編 3) 4~5 編 2) 2~3 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

B. 当該年欧文論文 (PF 2)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 8 編以上 4) 6~7 編 3) 4~5 編 2) 2~3 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 14 編以上 4) 10~13 編 3) 6~9 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

C. 過去 3 年間和文論文 (PF 1)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 9 編以上 4) 7~8 編 3) 5~6 編 2) 2~4 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 16 編以上 4) 11~15 編 3) 6~10 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

D. 過去 3 年間欧文論文 (PF 2)

【基礎教室】

1. 原 著 5) 16 編以上 4) 11~15 編 3) 6~10 編 2) 2~5 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

【臨床教室】

1. 原 著 5) 31 編以上 4) 21~30 編 3) 11~20 編 2) 2~10 編 1) 1 編  
 2. 症例報告 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 3. 總 說 5) 5 編以上 4) 4 編 3) 3 編 2) 2 編 1) 1 編  
 4. 著書・著書編者等 ( 編)

計	
1	
2	
3	
4	
計	
1	
2	
3	
4	

E. インパクトファクター(IF) (PF1)

1. 当該年における IF 総点数  
5) 16 以上 4) 11~15 3) 6~10 2) 1~5 1) 1 未満
2. 過去3年間ににおける IF 総点数  
5) 46 以上 4) 31~45 3) 16~30 2) 1~15 1) 1 未満
3. 当該年における単一論文の IF 点数 (IF 5 以上の各論文(筆頭著者, 論文名, 巻, 頁, 年) と IF) (PF2) なお, 論文数が2つ以上ある場合は, 列記願います。

[ 記載例: 論文 1: 筆頭著者名, 論文名, 巻, 頁, 年 (IF) ] を記入する。

[  
[  
[

]  
]  
]

計	
1	
2	
3	

F. 科学研究費補助金、他省庁からの研究費獲得状況 (当該年度分とする)

1. 文部科学省科学研究費補助金取得総額(単位: 万円) (PF1)  
5) 600 以上 4) 400~600 未満 3) 200~400 未満 2) 100~200 未満 1) 1~100 未満
2. 文部科学省以外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額(単位: 万円) (PF1)  
5) 120 以上 4) 80~120 未満 3) 40~80 未満 2) 20~40 未満 1) 1~20 未満
3. 国外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額(単位: 万円) (PF1)  
5) 600 以上 4) 400~600 未満 3) 200~400 未満 2) 100~200 未満 1) 1~100 未満

計	
1	
2	
3	

G. 国内全国学会・研究会等への関与 (当該年度分とする)

1. 学会・研究会出題数 (PF0.1)
2. 特別講演又は招待講演等回数 (PF1.5)
3. シンポジウム又はワークショップ回数 (PF1.5)
4. 一般演題司会者 (座長) 回数 (PF0.5)
5. 特別講演又は招待講演等司会者 (座長) 回数 (PF1)
6. シンポジウム又はワークショップ司会者 (座長) 回数 (PF1.5)

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

H. 国際学会・会議等への関与 (当該年度分とする)

1. 学会・会議出題数 (PF0.2)
2. 特別講演又は招待講演等回数 (PF3)
3. シンポジウム又はワークショップ回数 (PF3)
4. 一般演題司会者 (座長) 回数 (PF1)
5. 特別講演又は招待講演等司会者 (座長) 回数 (PF2)
6. シンポジウム又はワークショップ司会者 (座長) 回数 (PF3)

計	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

I. 学会等の主催（当該年度分とする）

1. 国内全国学会（西日本地方会以上）・研究会主催回数（PF 5）

2. 国際会議（学会・シンポジウム）主催回数（PF 10）

計	
1	
2	

J. 専門誌編集委員としての関与（当該年度分とする）

1. 国内専門誌編集委員件数（PF 3）

2. 国外専門誌編集委員件数（PF 6）

計	
1	
2	

K. 受賞関係（当該年度分とする）

1. 国内外学会賞の取得件数（PF 5）

計	
1	

以下の（PF）は，その都度学長が判断する。

2. 外国政府機関からの称号授与件数（PF ）

3. 外国大学からの称号授与件数（PF ）

4. 政府関係賞授与件数（PF ）

5. 非政府関係賞授与件数（PF ）

6. 国際政府関係賞授与件数（PF ）

7. 国際非政府関係賞授与件数（PF ）

8. 国際学会名誉会員件数（PF ）

2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

L. 研究業績に関する評価（PF ）

その都度病院長が判断する

計	
---	--

総合計 点数	
-----------	--

## 評価基準の段階について

1. 「A. 当該年論文」「B. 当該年欧文論文」  
3年間の平均論文数を5段階の3)に設定した、  
但し、論文数が少ないもの(例えば和文の症例報告等)については、最低限の段階として  
5)5編以上 4)4編以上 3)3編以上 2)2編以上 1)1編 と設定した。
2. 「C. 過去3年間和文論文」「D. 過去3年間欧文論文」  
3年間の論文数により、平均が5段階の4)又は、3)となるよう設定した。
3. 「F. 1. 文部科学省科学研究費補助金取得総額」  
平成11年度の平均取得金額の230万円を5段階の3)に設定し、200万円毎の段階に区分した。
4. 「文部科学省以外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額」  
3年間の平均取得金額の51万円を5段階の3)に設定し、40万円毎の段階に区分した。
5. 「国外の省庁や民間等からの公募による研究費取得総額」  
実績がなかったため、「1. 文部科学省科学研究費補助金取得総額」と同じ段階に区分した